

一般質問

(一般質問は4面・5面にも掲載)



民政会 古木 勝久

南地区の臭気問題、9年目に終止符を



臭気への科学的なアプローチを(南地区の遠望)

一 南地区臭気対策について

依然として、臭気問題は改善していない。今も関連自治会の課題の一つになっている。しかし2年近く、今泉堆肥利用組合、自治会、行政との意見交換会が行われていない。情報の共有化と問題解決のために、意見交換会の開催が必要であると思うがどうか。

答 臭気軽減に向けた前向きな話し合いができるような状況が見込まれるのであれば、良好な関係を構築できるような働きかけたい。

問 金井場配水場付近では、2年ほど前から大量のハエが発生しているが、愛川町から搬入される原料の発酵堆肥の一時置き場が発生源ではないか。また、現在の臭気源が強い状態での持ち込みではなく、発酵が進み臭気が収まった堆肥でも品質が維持できるかなど、専門的な視点からの原因究明と対策が必要と考えるがどうか。

答 ハエの発生源は特定できていないが、発酵堆肥の製造過程も含め、平成29年度から30年度にかけて、神奈川県が臭気軽減に向けた調査・研究のための臭気対策プロジェクトチームを編成するため、市も参画し、科学的側面からの調査・研究に取り組む。

意見 この臭気問題は、足かけ9年も費やされている。臭気対策については、原因者の話だけで対応してきた経緯がある。第三者機関を入れて、早急に問題解決のための対策を講じていくべきである。



公明党 山下 博己

生ごみ処理器キエーロのさらなる普及促進を

一 生ごみ処理器キエーロの普及促進について

問 平成29年第2回定例会の一般質問で、ごみ減量問題は最重要課題であることを踏まえ、最もごみ減量に効果が期待できる生ごみ処理器キエーロの普及促進を訴えたが、その後の状況はどうか。

答 広報はだの特集号やホームページ、タウン情報誌などの媒体を通じたPRや商工まつりなどでの展示や出前講座での啓発を進める中、興味を持たれる方が多いことから、キエーロを西庁舎前や各公民館に設置し、実際に生ごみを投入し実演展示も行っている。

問 前回の一般質問では、キエーロの供給体制の確立が課題であったが、その後の状況はどうか。

答 NPO法人四十八瀬川自然村の協力により、キエーロ1台を消費税・送料込みの8千円で生産できる体制が整ったため、供給体制は十分であると考えている。

問 生ごみ減量は、ごみ処理コストの削減に大きくつながる。今後補助金支給率をさらに上げるなど、早期に市民の協力が得られる環境づくりが必要と考えるがどうか。



緑水クラブ 木村 真澄

大災害に備えて 自分の命は自分で守る対策を

一 災害対策について

家具転倒防止など自分の命を守るための対策が重要である。市民に対する周知はどうか。また、多くの人が集まる大型の商業施設にセーフティゾーンを設ける必要があると考えるがどうか。

答 防災に関するイベントなどで啓発するとともに、自治会を通じて市民へ周知していく。また、セーフティゾーンについては、大型店舗連絡協議会と協定を締結していることから、協議の場において設置について依頼していく。



日本共産党 露木 順三

市長は国保の被保険者証の取り上げをやめ、市民の命と暮らしを守れ

一 防災・減災施策について

平成29年7月5日の九州北部豪雨は死者・行方不明者41名であった。本市では、危険箇所などを掲載したみんなで作る防災マップを土砂災害警戒区域にある131自治会中14自治会しか作成しておらず早急な対策が必要だがどうか。

答 地域の災害特性を考慮した作成方法の柔軟な対応により、防災マップづくりの働きかけを強める。

二 国民健康保険施策について

平成28年度末、滞納世帯の被保険者証取り上げ数は1948人で、そのうち病院で10割払わなければならない資格証明書は385人である。要綱に滞納世帯の所得状況や実態調査により、医療機関で10割医療費が払えないと認められる場合、被保険者証返還請求や資格証明書の交付を行わないとあり、貧困状態の市民には生活保護や福祉につながるべきだがどうか。

答 納税相談の内容により、福祉施策につないだ件数は年に1件あり、福祉部内だけでなくあらゆる部門で連携し、支援していきたい。

三 洗沢丘陵霊園建設について

墓地等経営許可申請は平成26年10月3日に許可されたが55筆のうち一筆だけが許可と同時に所有権移転がされなかったのは契約書の土地所有者が違っていたからで本市の確認が不十分だったのではないかと答へ二つの土地売買契約を経て所有権が移転されており審査手続きの中でしっかりと状況確認している。



キエーロの普及によりごみ減量の実現を(議員有志によりキエーロを制作・設置)



早急に防災マップ作成の働きかけ



災害に備えた対策を(写真は平成29年度防災訓練(避難所訓練))

問 防災ラジオの導入は防災行政無線デジタル化の整備状況を見極めながら、前向きに検討していく。

二 子どもの貧困対策について

その2) 東京都の公益財団法人と社会福祉協議会が契約し、※フードバンクを活用していることは評価するが、農協など民間企業の協力を得て、もっと身近でフードバンクができるよう検討してほしい。

問 学習支援は現在、生活保護世帯と生活困窮世帯の小学5年生から中学3年生までを対象に週2回実施しているが、さらに低学年からの受け入れと部屋などの確保をしてほしいが、どうか。

答 安全に通学できれば積極的に受け入れし、教室などを確保する。

議会役職等構成一覧

(◎委員長 ○副委員長) 平成29年10月5日現在

Table with columns for position (議長, 副議長, 総務, etc.) and names of council members.

秦野曾屋高校で出前講座を開催

～高校生270人が「選挙と議会のしくみ」について学習～

10月19日(木)に、選挙管理委員会事務局と議会事務局の職員が県立秦野曾屋高校に出向き、3年生の生徒270人に「選挙と議会のしくみ」について講義しました。講義を聞いていた生徒の中には、初めて選挙権を持ち、10月22日(日)の衆議院議員総選挙で実際に投票ができる生徒もいました。生徒からは、「講義を聞いて、選挙に行こうと思った」、「一般質問は、どのような質問があるのか」などの声がありました。

議会のしくみ、聞いてみませんか?

議会事務局では、市民の皆さんの疑問にお答えするため、出前講座を実施しています。学校の授業、自治会や職場の研修会などを開催するときに、議会のしくみを学んでみませんか。議会事務局までお問い合わせください。



秦野曾屋高校での出前講座の様子

【用語解説】 ※フードバンク…食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設などへ無料で提供すること。